

Partner

[パートナー]

Vol.12
2023.SEP

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・産科部長・

酒井 謙

当院の分娩室が
LDRになりました



・婦人科部長・

東 眞

卵巣悪性腫瘍の遺伝子検査
およびカウンセリング・管理が可能に



紹介患者様の受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しています。地域医療連携室では、他の医療機関からの紹介患者様の対応、または患者様のお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。

当院は、外来患者様が多く、待ち時間が長くなるため、紹介状持参患者様については、特に事前予約をお勧めしています。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。

「受診予約申込書」と「診療情報提供書」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》
TEL.0299-85-1133 FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、
翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

紹介状持参患者様 予約取得フロー

- 1 医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:00

TEL.0299-88-2233 (紹介状予約患者さん専用ダイヤル)
- 2 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。
FAX.0299-88-2211 (地域医療連携室直通)
※FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。
- 3 ・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
 ・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。
(できる限り15分以内にご連絡します)
※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。
- 4 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
 ご案内をお願いいたします。

各科緊急連絡先

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。

- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
 - ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
 - ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00迄) 日・祝を除く
 - ・放射線科 0299-85-1173 (画像検査科直通)*
 - ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)*
- ※月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く





・婦人科部長・
東 眞

日本産科婦人科学会専門医
医学博士

ピックアップドクター

Pick up Dr.



各診療科の医師が専門分野を伝える

・産科部長・
酒井 謙

日本産科婦人科学会専門医



● 当院の分娩室がLDRになりました

私たち小山記念病院産婦人科は、当院の理念であります「地域医療の充実を図る」をもとに安心して地域でお産ができるように、そして当院におかかりいただいたことをご満足いただけるように、医療の質の向上にも取り組んでおります。

🔗 陣痛・分娩・回復の時期を移動負担の少ないひとつの部屋で過ごせる

その活動の一環として2023年4月より分娩施設にLDRを導入いたしました。LDRとは分娩室のひとつの形で、Labor（陣痛）、Delivery（分娩）、Recovery（回復）の頭文字です。陣痛・分娩・回復の三つの期間をひとつの部屋で過ごせます。

内装は一見普通の個室のようになっていますが、分娩に必要な機材などはすべて揃っており、ベッドは分娩時には分娩台に変わるものが設置さ

れています。陣痛の期間は個室のような雰囲気です。リラックスして過ごしていただき、分娩が終わった後も移動が不要でゆっくり回復期を過ごせます。最も重要なメリットは移動の負担が少ないことです。

🔗 人それぞれが描く理想のお産スタイル実現をめざす

お産は人それぞれどのように過ごし、どのように産むか、理想のスタイルがあるものです。個室ですので音楽やアロマ等自由に過ごせます。また、照明も色や明るさを自在に調節でき、理想のお産を実現しやすくなります。

ご利用の例としては、陣痛が来てご来院いただいた後は分娩の進み具合

で一旦お入りいただくお部屋を決めます。お産が進みそうなら最初からLDRに入院、ゆっくり進みそうなら一般のお部屋にお入りいただき、進んでからLDRに移動していただきます。子宮口が開いてきて分娩となったらLDRベッドを分娩台に変形、分娩体位でお産となります。産後処置が終わったら分娩台をベッドに変形して回復期を迎えます。

無痛分娩や計画分娩の場合も異なる部分はありますが、概ね同様にお過ごしいただきます。

新しいスタイルの設備で、私たち小山記念病院産科スタッフは理想のお産を実現すべく努力しております。



当科におきましては良性悪性腫瘍性疾患、その他多彩な婦人科疾患に幅広く対応しております。

🔗 大学病院医師を招聘し困難な手術も実施

手術症例につきましては内視鏡手術、通常の開腹手術を中心に、子宮鏡手術やその他小手術に至るまで多用に行っております。

内視鏡手術におきましては内視鏡下子宮全摘術や卵巣腫瘍等に対する手術を適応としており、患者様の苦痛や負担の少ない治療を心がけております。

また、開腹手術は良悪性腫瘍性疾患やその他婦人科疾患の全般に対応しており、大学病院医師の招聘も行うなど困難な手術も試みます。

手術実績（過去一年間）といたしましては、内視鏡手術（子宮全摘、付属器切除等）、子宮鏡手術で27例。開腹

手術は良性悪性疾患を中心に68例、経腔手術（子宮脱手術を中心に）5例、そしてその他各種小手術（日帰り手術も含む）も盛んに行っております。

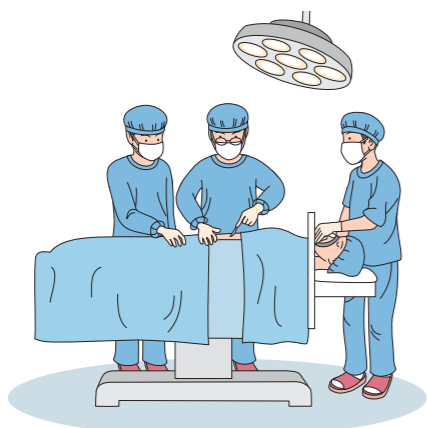
🔗 術前後の化学療法から終末期の緩和ケアまでトータルに対応

悪性腫瘍症例につきましては集学的治療を導入し、術前後の補助療法としての化学療法、そして当科婦人科チームと緩和医療チームとの連携における、終末医療に至るまで関わっていきます。

さらに、昨年度より当院は卵巣悪性腫瘍に対する遺伝子検査やカウンセリング、そしてその後の管理に及ぶまでケアすることができ体制となっており、必要であれば関連科である乳腺科や消化器科との連携が可能になっております。

また、産科スタッフと連携した妊娠合併症婦人科疾患などにも対応することが可能で、合併症の妊婦さんにも加療から分娩に至るまで安心して治療を受けていただける体制も整っております。

地域医療を担う婦人科として努力していきますので、今後も引き続き当科婦人科をお願い申し上げます。



● 卵巣悪性腫瘍の遺伝子検査 およびカウンセリング・管理が可能に